

Leica Store Kyoto 2F

ライカギャラリー京都 | Leica Gallery Kyoto

ライカ京都店 2F | 京都市東山区祇園町南側570-120 | Tel. 075-532-0320

Leica Store Kyoto 2F | 570-120 Gionmachi Minamigawa Higashiyama-ku Kyoto | Tel. +81 (0) 75 532 0320 | www.leica-camera.co.jp



マルク・リブーが見た日本の女性

By Marc Riboud

マルク・リブー 写真展

2017.9.23 (Sat.) - 2018.1.18 (Thu.) 11:00-19:00

ライカギャラリー京都 (ライカ京都店2F) Leica Gallery Kyoto

月曜日定休 Closed on Mondays

入場無料 Admission free

プロフィール

1923年、フランス・リヨンに生まれる。14歳のとき、父親からもらったカメラで初めて写真を撮る。リヨンでエンジニアになるが、休暇中に地元の演劇祭を撮影したのを機に退職、フリーランスの写真家となる。1952年、パリに移る。1953年、『LIFE』誌にエッフェル塔のペンキ塗りの写真が掲載され、アンリ・カルティエ＝ブレッソンの誘いを受けマグナム・フォトに参加。1957年、初の中国訪問、以降40年以上にわたり断続的に同地を撮影。1958年、初来日。1975年、マグナム・フォトの会長に選出される(～78年)。1980年、マグナム・フォトの寄稿写真家になる。2016年8月、パリにて死去、享年93歳。世界各地で多数の展覧会が開催されている他、写真集も多数出版されている。海外記者クラブ賞(1966年、1970年)など受賞多数。

※ライカギャラリー東京(2017.9.22-2018.1.14)にて異なる作品で同時開催

20世紀を代表する写真家の一人であるマルク・リブーは、アンリ・カルティエ＝ブレッソン、ロバート・キャパらとともに、写真家集団マグナム・フォトの名を世界に知らしめる礎となった写真家の一人でもあります。マグナム・フォトの写真家の例にもれず、マルク・リブーも“世界を駆け巡る写真家”でした。40年にわたって断続的に撮影を続けた中国やインドをはじめ、アジア諸国においても多くのルポルタージュを残し、日本もその例外ではありませんでした。特に、マルク・リブーが初めて日本を“発見”した1958年に集中的に撮影された日本女性のルポルタージュは、写真家の観察眼と美的感覚とが絶妙に融合したもので、リブーの作品の中でも独特の場所に位置しています。高度成長期の日本の様々な場面でとらえられた女性たちの姿は、伝統と変化をもっとも体現する存在であったとも言えます。本展は、日本国内でまとめて発表されることがなかったシリーズ〈Les Femmes Japonaises〉から精選した作品を展示します。

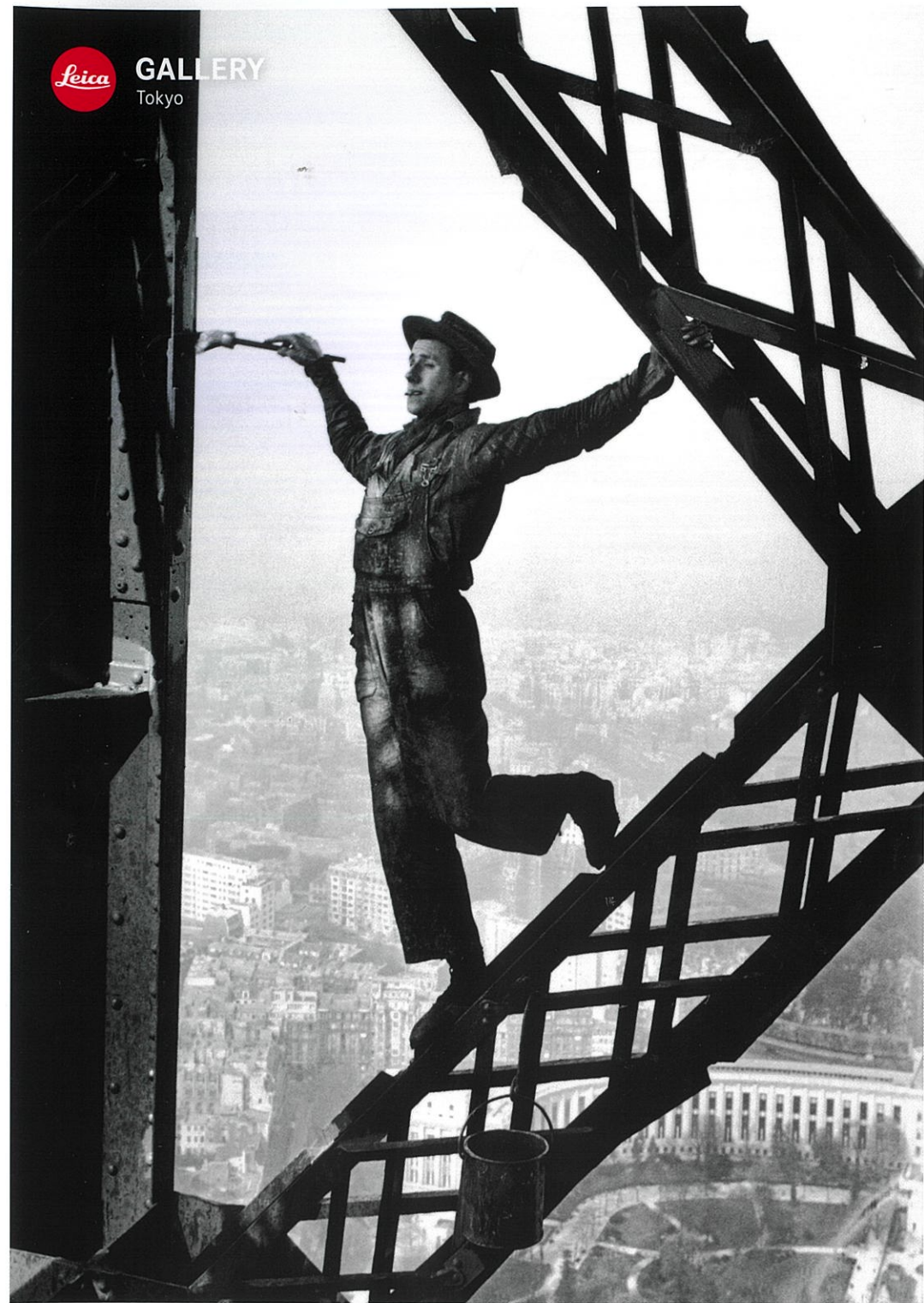


地下鉄銀座駅
 C2出口より徒歩2分
 JR有楽町駅
 中央出口より徒歩7分

ライカギャラリー東京 | Leica Gallery Tokyo

ライカ銀座店 2F | 東京都中央区銀座6-4-1 | Tel. 03-6215-7070

Leica Store Ginza 2F | 6-4-1 Ginza, Chuo-ku, Tokyo | Tel. +81 (0) 3 6215 7070 | www.leica-camera.co.jp




GALLERY
 Tokyo

